為三に届けふるさとの歌声

第11回浜辺の歌音楽祭

第11回浜辺の歌音楽祭が、11月3日に文化会館で行われ、市内の小中学生やコーラスグループが、成田為三の楽曲や趣向を凝らした合唱曲を発表しました。

同音楽祭は、『浜辺の歌』をはじめ優れた童謡や歌曲などを数多く作曲し、日本を代表する作曲家として知られる米内沢出身の成田為三を顕彰するとともに、歌声のあふれる活気あるまちづくりにつなげることを目的として、平成18年から開催されており、今回が11回目。今年は18団体、約750人が出演しました。

▲美しいハーモニーを響かせた第11回浜辺の歌音楽祭

開会セレモニーでは、成田為三作曲の「浜辺の歌」と平成26年に制定された「北秋田市民歌」を参加者全員で合唱。続いて、三澤仁教育長が「今日は、みんなの心と気持ちを一つにして、自分たちが持ってる一番きれいな声をホールの一番後ろの席で聴いている人まで届けようという気持ちで歌ってほしい」などとあいさつを述べました。

このあと、鹿角市出身の声楽家安保克則さんと鷹巣混声合唱団の土濃塚眞知子さんによる記念演奏が行われ、安保さんは、土濃塚さんのピアノ伴奏にあわせて、浜辺の歌や秋田県民歌、童謡など6曲を伸びやかで深みのある歌声で歌い上げ、音楽祭のオープニングに花を添えました。

この日のプログラムは午前・午後の2部構成。午前の部では、前田小学校が「未知という名の船に乗り」、「365日の紙飛行機」の2曲を声高らかに合唱したのを皮切りに、各団体が2曲から4曲を披露しました曲に合わせた手振りやステップなどを加えた趣向を凝らした合唱の発表もあり、各団体とも心をひとつにして美しいハーモニーを響かせました

遺跡の魅力を発表

伊勢堂岱遺跡ジュニアシンポジウム

伊勢堂岱遺跡ジュニアシンポジウムが、10月23日に市民ふれあいプラザで行われ、ジュニアボランティアガイドが今年の活動の経過や意見発表を行い、遺跡への熱い想いを語り合いました。

伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイドは、ふるさとが誇る伊勢堂岱遺跡への興味関心を高め、体験的実践を通して遺跡への愛着心を醸成するとともに、世界遺産登録推進の一助となることを目的に設立されています。今年度は、小学4年生から高校2年生までの24人が登録し、遺跡の現地ガイドをはじめ、伊勢堂岱縄文館の館内案内も行っています。

▲遺跡への熱い想いを語り合った伊勢堂岱遺跡ジュニアシンポジウム

この日のシンポジウムでは、はじめに佐藤笑夢（えむ）さん（鷹巣小6年）と佐藤華恋（かれん）さん（鷹巣小6年）が、カムバック縄文サーモン事業や縄文館オープン式典への参加、5月の大型連休と夏休みに行ったガイド活動などの活動内容を報告したほか、ガイド4人が自身が案内した様子を映したスライドをもとに、縄文館の模擬ガイドを行いました。

このあと、ガイド6人が意見発表を行い、このうち、米山奈那（かな）さん（綴子小5年）は「伊勢堂岱遺跡を、これからもずっと残していってほしい。そのために今、私たちがやっているガイド活動が、少しでもお手伝いになるといいと思っている。これからも遺跡の魅力を伝えていきたい」と抱負を述べたほか「今の目標は、伊勢堂岱遺跡を含む北海道北東北の17の縄文遺跡群が早く世界遺産登録になること。そのためには、私たちも地域の皆さんも伊勢堂岱遺跡を誇りに思い、みんなで守り伝えていかなければならない」と遺跡を後世に語り継ぐための決意を発表しました。

元オリンピック選手から3つの精神を学ぶ

JOCオリンピック教室

JOCオリンピック教室が、10月27日に合川中学校で行われ、生徒たちは元オリンピック選手と運動や座学で交流しながら、オリンピックの精神を学びました。

JOCオリンピック教室は、オリンピアン（オリンピック出場選手）が教師役となり、自身のさまざまな経験を通して感じた「オリンピックバリュー（価値）」などを多くの人に伝えることで、アスリートはもちろん、子どもたちの日常の生活にも生かしてもらうため、日本オリンピック委員会が主催しています。

▲オリンピックの価値を運動と学習の両面から学んだJOCオリンピック教室

教師役を務めたのは、2006年のトリノオリンピックでスキーフリースタイルの一つ「エアリアル」に出場した逸見（へんみ）佳代さん。教室には合川中学校の2年生41人が参加し、1時間目に運動、2時間目に座学の授業が行われました。

運動の授業では、3チームの対抗戦で大縄跳びなどを実施。跳ぶだけではなく、いかに跳ぶ回数を増やすかをチームで話し合う時間が設けられ、生徒たちは「縄の長さを短くしてみては」、「跳びやすいようにゆっくりとまわしてみては」などのアイデアを出し合うなど、チーム全員で考え協力しながら実践していました。

また、座学の授業では「エクセレンス（頑張る心）」、「フレンドシップ（仲間）」、「リスペクト（感謝の気持ち）」の3つの「オリンピックバリュー」をテーマに学習しました。逸見さんは2度のけがで長野、ソルトレイクに出場できなかったが、あきらめずに競技を続けた自身の経験を交えながら生徒たちに語りかけ、生徒たちは、逸見さんの体験談に耳を傾けて、3つの「オリンピックバリュー」について理解を深めました。

市長ダイアリー

◇10月16日～11月15日

10月17日(月)
▽生涯スポーツ功労者 伊藤敬悦氏 表敬訪問（本庁舎）▽人権擁護委員柴田節子氏委嘱状伝達式（本庁舎）

18日(火)
▽日沿道秋田県北部期成同盟会等秋期合同要望（仙台市）

19日(水)
▽北秋田市自治会長連絡協議会役員研修会（打当温泉マタギの湯）

20日(木)
▽平成28年度東北国道協議会総決起大会（盛岡市）

22日(土)
▽日本海沿岸東北自動車道鷹巣大館道路《鷹巣IC～二井田真中IC》開通式（脇神藤株下岱地内）▽日本海沿岸東北自動車道鷹巣大館道路《鷹巣IC～二井田真中IC》開通記念祝賀会（大館市）

31日(月)
▽日沿道秋田県北部期成同盟会合同要望活動（秋田市）

11月1日(火)
▽北秋田市と北秋田市商工会との意見交換会（本庁舎）

2日(水)
▽合川商店振興会研修会（かつら屋）

6日(日)
▽JA鷹巣町女性部第23回JA女性部並びに家の光大会（市民ふれあいプラザ）▽下杉集落 市長と語る会（下杉会館）

8日(火)
▽綴子地区自治会 北秋田市長との懇談会（綴子基幹集落センター）

9日(水)
▽日沿道早期整備促進要望活動（東京都）

10日(木)
▽百歳を迎える長寿者成田チヤ氏への祝状等の贈呈（成田氏宅）

11日(金)
▽北秋田市誘致企業懇談会（市民ふれあいプラザ）

12日(土)
▽北秋田市土地改良区第1回臨時総代会（市民ふれあいプラザ）

13日(日)
▽鷹巣婦人団体連絡協議会チャリティ婦人芸能祭（文化会館）

14日(月)
▽北秋田市議会第3回臨時会（議事堂）▽第3回北秋田市議会全員協議会（本庁舎）▽第2回北秋田市民病院運営協議会（市民病院）

15日(火)
▽大館能代空港ターミナルビル㈱第90回取締役会（同ビル）